



2022年11月10日

各位

会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 竹内 在  
(コード: 7318 東証グロース)  
問合せ先 取締役 経理部長 小谷 和央  
(TEL 052-222-5306)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月10日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

連結	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,592	366	269	280	63.58
今回修正予想 (B)	14,365	204	122	163	37.16
増減額 (B - A)	△1,227	△162	△147	△117	—
増減率 (%)	△7.9	△44.3	△54.6	△41.8	—
(参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	13,805	194	179	199	49.18

#### 2. 修正の理由

当社グループは、「プロフェッショナル・ソリューション事業」「インベストメント事業」「モノづくり事業」で構成されております。

「モノづくり事業」において、国内の自動車メーカーを主要顧客としておりサプライヤーとして部品を供給しております。当社は、当初の業績見通しとして部品不足に起因する減産リスクや原材料及び輸送コストの高騰を懸念しており、当該主要顧客の国内生産計画台数を一定数割り引いた保守的な計画を立てておりました。しかしながら、直近の状況では主要顧客の国内生産計画台数に基づく売上高と売上高の実績に20%以上の乖離（下振れ）が生じており、足元においても自動車メーカーの工場稼働停止が発生していることから、当該状況が期末まで続く可能性があると考え、当社の国内生産計画台数の前提を約20%減の250万台に計画を修正いたしました。

以上を踏まえ、「モノづくり事業」における売上高を当初見込んでいた14,392百万円から13,220百万円に下方修正いたします。

なお、「モノづくり事業」以外のセグメントにつきましては、業績は計画通り推移しており予想は据え置いております。

利益につきましては、人件費等のコントロールにより販売費及び一般管理費を計画より54百万円削減する予定であるものの、売上高の減少に伴い営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきまして前回の予想を修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上